

ASEAN 3国の特許調査における FOPISERの有効性

Efficacy of FOPISER database in ASEAN patent search



オリンパス株式会社 知的財産3部/アジア特許情報研究会 **中西 昌弘**

1980年 オリンパス光学工業株式会社入社
 2010年～ 知的財産部門にて知財情報分析に従事
 2011年～ アジア特許情報研究会所属
 2014年～ 日本パテントデータサービスセミナー講師

1 はじめに

この数年 ASEAN 諸国の特許庁データベースがたびたびバージョンアップされ、さらに商用特許データベースの ASEAN 特許の収録も進んでいるようである。しかしまだまだ ASEAN 諸国の特許調査は、

- ・ 各国特許庁サイトで公開されたデータベースは調査性が十分ではない
- ・ DOCDB⁽¹⁾ における収録率が低い
- ・ 商用特許データベースにおける収録率が低い

状況であり、正確性・網羅性の高い特許調査を行うことが難しいと言わざるを得ない。

このような状況下で JPO (日本特許庁) と ASEAN 各国特許庁との間で特許データの交換が開始され、2015年12月に SG (シンガポール) の、2016年2月には VN (ベトナム) の、さらに2016年5月には TH (タイ) の特許情報が、JPO の FOPISER データベース⁽²⁾ に収録され一般公開が始まった。

本稿では前記 ASEAN3 国の特許調査における FOPISER の有効性について検証した結果を報告する。

ひと口に特許調査と言っても動向調査・侵害予防調査等々、様々な種類の特許調査が存在する。本稿では、

- ・ 狙いの技術範囲の特許群を抽出し
- ・ 権利範囲を特定する

ことをターゲットとした特許調査を前提としたい。

本稿では仮に特許データベースを図1のように

- ・ A 列 (出願番号列) には対象国で出願された案件の出願番号が記されており、
- ・ B 列以降には各種書誌情報や発明の名称・要約・請求項・詳細な説明等々の「フィールド名」が配置され、
- ・ 縦横の交点セルに情報が入っている

スプレッドシートと想定し、各国のデータベースを

- ・ 縦軸：出願・発行された案件の収録網羅性
- ・ 横軸：フィールドの潤沢さ
- ・ 交点：検索・表示用情報の正確性・網羅性

の3種の観点で評価する。

	A	B	C	...	W	X	Y	Z
1	出願番号	出願日	公開番号		請求項	出願人	発明者	法律状態
2	AS1980-000001	※※※	※※※		※※※	※※※	※※※	※※※
3	AS1980-000002	※※※	※※※		※※※		※※※	※※※
...	...							
122345	AS1999-012344	※※※	※※※		※※※	※※※	※※※	※※※
122346	AS1999-012345						※※※	※※※
122347	AS2000-000001	※※※	※※※		※※※	※※※	※※※	※※※
122348	AS2000-000002		※※※		※※※	※※※		※※※
122349	AS2000-000003	※※※	※※※		※※※	※※※	※※※	
122350	AS2000-000004	※※※	※※※			※※※	※※※	※※※
...	...							
987654	AS2015-045678	※※※	※※※			※※※	※※※	※※※
987655	AS2015-045679	※※※	※※※		※※※		※※※	

図1 仮想特許データベース

2 FOPISER 構成

ここでは FOPISER で特許の検索・査読を実施するための方法について簡単に紹介する。詳細は FOPISER サイトの HELP 画面⁽³⁾ を参照いただきたい。

2.1 「書誌情報検索 (特実)」画面

FOPISER の「書誌情報検索 (特実)」画面 (以降検索画面とする) は図2のように構成されている。



図2 「書誌情報検索 (特実)」画面

発行国：

2016年8月時点ではASEAN諸国のうち、シンガポール (SG)・ベトナム (VN)・タイ (TH) の3か国がサポートされている。

文献種別：

「発行種別：特許・実案」と「文献種別：公開・登録」を組み合わせて、検索対象の文献を選択することができる。しかし2016年8月時点では表1のようにSG・THの登録特許案件は収録されていない。

表1 FOPISER 収録文献

	特許		実用新案	
	公開	登録	公開	登録
シンガポール	○	×	実案制度なし	
ベトナム	○	○	○	○
タイ	○	×	○	

日付情報：

公知日・出願日のそれぞれの日付を範囲指定することができる。検索画面下部の「フリー検索条件」内でも公開日・登録公報発行日を検索フィールドに指定できるが、ここでは日付範囲を任意に指定することができない。日付範囲を指定したい場合は、画面上部のこの部分を使用する必要がある。

検索条件・NOT 検索条件：

左側の「検索条件」は、指定した条件が適合するものを検索するものであり、右側の「NOT 検索条件」は、指定した条件が適合しないものを検索する際に使用する。

いずれも「検索項目」として、要約・発明の名称・国

際特許分類・出願番号・公開番号・公開日・登録番号・登録公報発行日・出願人／権利者を選択することができる。

後述するスクリーニング画面では各国特許庁とデータ交換した情報が原語のまま表示され、ここにも要約・発明の名称が含まれている。しかし「検索条件」・「NOT 検索条件」で「検索項目」として要約や発明の名称を選択しても、スクリーニング画面に表示された文字列を検索するわけではない。たとえばVN・TH案件を検索する際に、ベトナム語やタイ語の文字列を検索してもヒットさせることができない。

VN・TH案件においては、英語に機械翻訳された文字列を検索用フィールド (インデックス) として内部に保存しており、この検索用英語文字列を検索している。一般に馴染みの薄いベトナム語やタイ語文字列を検索することは至難の業ではあるが、逆に派生語がどのように英語に翻訳されているかわからない状態で英単語で検索することも、検索の網羅性の観点での不安は隠せない。

SG案件については別の注意が必要である。スクリーニング画面には同国特許庁から提供された文字列が表示されているが、検索用フィールドにはDOCDBから提供された文字列だけが登録されており、同国特許庁より提供された情報は入っていない。DOCDBは欧米特許の収録網羅性は高く信頼できるデータベースと呼べるが、ASEAN特許の収録率は低く、たとえばTHの特許は全期間で8件しか収録されていない。SG案件についてはここまで酷くはないが、FOPISERの「利用可能範囲」で表示されるように、収録された159,957件のうち半分以下の74,833件しか検索することができない。同国特許は我々日本人にも馴染みの深い英語で記されており、要約や発明の名称を検索することが容易ではあるが、そもそも半分以上の案件が検索可能な集合から外れていることに注意していただきたい。

文献種別	上段：検索可能範囲 / 下段：文献蓄積範囲										最終更新日	件数
	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20		
シンガポール文献	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/05/10	74,833件
特許公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2015/12/24	159,957件
特許公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	27,630件
特許登録	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	27,630件
特許登録	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	7,650件
ベトナム文献	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	7,650件
実用公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	1,694件
実用公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	1,694件
実用登録	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	613件
実用登録	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/02/26	613件
タイ文献	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/07/07	65,939件
特許公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/07/07	65,939件
実用公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/07/07	10,793件
実用公開	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 2016/07/07	10,793件

図3 FOPISER 文献収録状況

2.2 「検索結果一覧 (特実)」画面

「書誌情報検索 (特実)」画面 (以降検索結果一覧画面とする) で検索された案件集合を一覧表示する画面である。この画面ではいずれの発行国 (発行庁) の案件についても、公報番号・種別・発行庁・公知日・出願日・発明の名称・出願人名の 7 項目が表示される。

2.3 「スクリーニング (特実)」画面

各国特許庁から提供された情報が表示される画面である。本稿ではスクリーニング画面と呼ぶ。画面左側のフレームには文字情報が、右フレームには図が表示される。発行国や案件によっては右フレームに公報フロントページの画像が表示されるものもある。



図4 スクリーニング画面

左フレームに表示される内容は各国特許庁から提供された情報に依存しており、発行国ごとに表示される項目が異なっている。図4の場合には

- (43) 【公開日】 20150129
- (51) 【国際特許分類】 G01N 21/65
- ...

【優先権情報】

- (33) 【優先権主張国】 US
- (31) 【優先権主張番号】 61/667,384
- (32) 【優先日】 20120702

のように、日本語のタグや INID コードが表示されてい

るが、各国特許庁から提供された情報には必ずしも適切な XML タグが付与されているわけではなく、提供された文字列を JPO 内部でパターン認識の上カテゴライズすることによりタグを付与しているものである。このため【請求の範囲】のタグが表示されない案件であっても、【発明の詳細な説明】の中に「according to claim 1」のような文字列が含まれている例も多数確認できる。

この左フレームには機械翻訳機能が用意されており、英語文献・ベトナム語文献・タイ語文献のいずれも日本語に機械翻訳して査読することが可能である。左フレーム文字列の翻訳には Google 翻訳⁽⁴⁾ が使用されており、翻訳を起動した時点での翻訳結果が表示されるが、先に記した検索用フィールド (インデクス) 作成時の翻訳と必ずしも完全に一致していることは保証されていないようである。

3 シンガポール

同国では IPOS (シンガポール知的財産庁) により特許検索データベース (IP2SG⁽⁵⁾) が WEB で一般公開されている。アジア特許情報研究会では、JETRO バンコク (日本貿易振興機構バンコク事務所) からの委託を受け、この IP2SG のアクセス方法を調査し、さらに収録された情報を分析した結果が 2016 年 3 月に JETRO から発表された。詳細は JETRO の WEB サイトに掲載された「シンガポール知的財産庁が提供する産業財産権データベースの調査報告」⁽⁶⁾ (以下単に「JETRO 報告書」とする) を参照願いたい。

3.1 出願・発行された案件の収録網羅性

「出願番号密度」という計測基準を用いて IP2SG の案件収録網羅性についての検証を実施したところ、出願番号内の年号数字 2007 の案件の収録率には若干の懸念が残るものの、それ以外の案件のレコード収録網羅性には問題がなさそうとの結果が得られている。この分析の詳細は JETRO 報告書の 12 ページを参照願いたい。

図 5 は IP2SG あるいは FOPISER に収録され 1996 年以降に出願された案件について、IP2SG だけに収録された件数、双方に収録された件数、FOPISER

だけに収録された件数を、出願年ごとにグラフ化したものである。横軸の出願年は出願番号文字列に含まれる年号数字ではなく、IP2SG レコード上で「出願日」として表示される出願年を、FOPISEER にしか収録されていない案件については FOPISEER レコード上で「出願日」として表示される出願年を使用した。

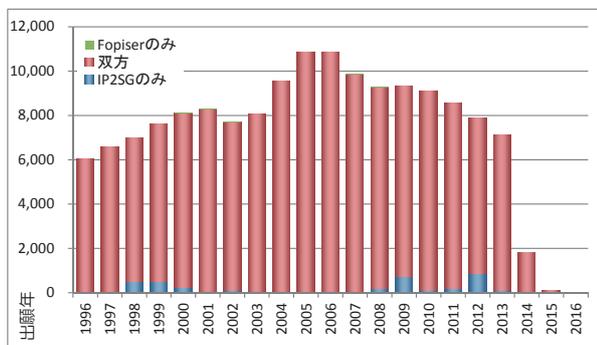


図5 IP2SG・FOPISEER 収録比較

グラフのように、IP2SG にしか収録されていない案件も僅かにあるが、概ね FOPISEER の収録に問題はなく、縦軸の必要条件すなわち案件収録の網羅性は満たしていると考えられる。

3.2 フィールドの潤沢さ

JETRO 報告書 68 ページに記したように IP2SG の表示・検索項目は 31 項目と潤沢であり、特許検索データベースとしての必要条件は満たしている。

FOPISEER では、表示フィールドとして検索結果一覧画面に表示される各国共通の 7 項目に加えて、スクリーニング画面には表 2 に記した 16 項目がサポートされている。表示フィールドとしては、必要条件は満たしていると言える。

表2 SG 表示フィールド

スクリーニング画面	
発行国	優先権情報
公報番号	出願人情報
公報種別	発明者情報
公開日	発明の名称
IPC	関連文献
出願国	要約
出願番号	発明の詳細な説明
出願日	請求の範囲

一方検索フィールドは 2.1 節に記したように非常に少ない。一般に新興国で出願される特許の多くは他国の特許を優先権主張したり PCT 経由であったりという「他国生まれ」であり、その国に第一国出願されたものは少ない傾向がある。このような新興国の特許を調査する際には、優先権情報や PCT 関連情報が非常に有用であるにも関わらず、FOPISEER ではこのフィールドの検索が一切サポートされておらず、横軸の必要条件を満たしているとは言い難い。

3.3 検索・表示用情報の正確性・網羅性

前述したようにシンガポール案件は DOCDB から入手した情報しか検索することができず、検索可能な案件数は収録された案件の半数以下という状態。検索可能なフィールドも少なく、検索可能な案件数も半数以下という状態では、FOPISEER は「検索データベース」の観点では完全に力不足であると言わざるを得ない。

一方収録情報の正確性・網羅性の観点では IP2SG にも色々と問題がある。JETRO 報告書 13 ページに記したように IP2SG では IPC が付与されていない案件が多く、最も酷い 2009 年出願案件では 1/3 程度には IPC が付与されていない（表示されない）という問題がある。この状態では IPC を使用して「狙いの技術範囲の特許群を抽出」することには無理がある。ただ ASEAN の中でも VN・TH とは違って SG 特許は英語で表記されており、要約・請求項・詳細な説明に記された文字列を検索できれば「狙いの技術範囲の特許群を抽出」することも可能である。

IP2SG にはこの文字列を表示する機能は用意されていない。しかし検索結果詳細表示画面内に、「出願・包袋文書ファイル」へのリンクが収録されており、ここに記された文書名をクリックするとそれぞれのファイルを開くことができる。しかし要約文書ファイルリンクの収録率も 80% 程度、請求項・詳細な説明に至っては出願年ごとにバラツキがあるが 50% 程度の案件にしか収録されていない。詳細は JETRO 報告書の 15 ページを参照されたい。

一方 FOPISEER のスクリーニング画面では、要約・

請求項・詳細な説明が電子テキストで表示される。図6～図8に示すように1990年代に出願された案件の請求項の収録が悪く、「古い特許」の権利範囲の判読は難しい。また近年の案件についてはDOCDBから入手した書誌情報しか収録されていないため要約・請求項・詳細な説明ともに収録率が低下している。それ以外は請求項・詳細な説明ともにIP2SGに比べて極めて高い収録率であり、指定した案件を査読するためのデータベースとしては優れていることがわかる。

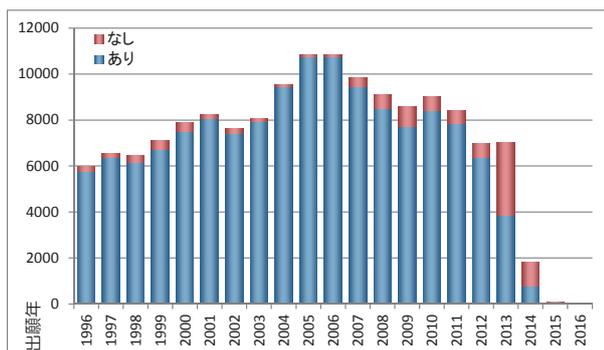


図6 FOPISER-SG 要約収録

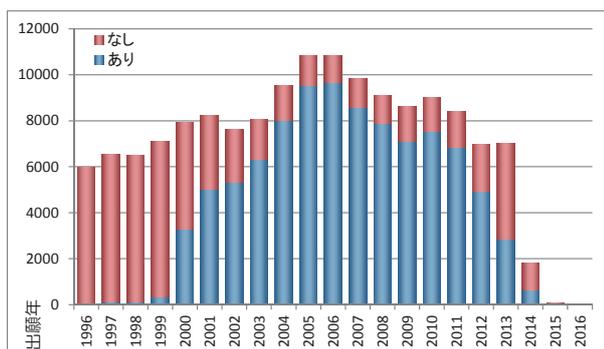


図7 FOPISER-SG 請求項収録

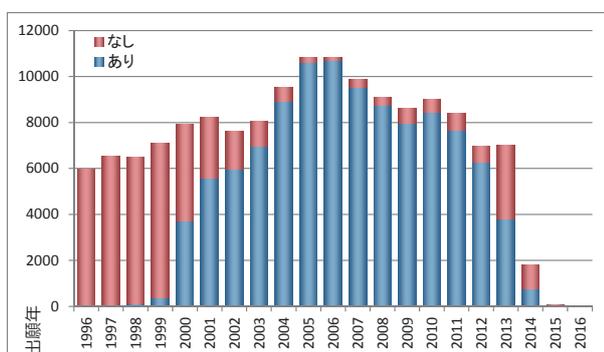


図8 FOPISER-SG 詳細な説明収録

ただし前記のようにFOPISERにはIPOSから入手した情報を検索する機能がなく「フリー検索条件」で「要約」を選択しても、IP2SG由来の要約文字列を検索することができない。これは非常に残念なことであり、せ

かくIPOSから入手した「宝」が持ち腐れ状態となっ

てしまっている。

この「宝」の有益性について次のような検証をトライしてみたので紹介する。IP2SGでは要約・詳細な説明に記された文字列を検索できる。この画面で要約・詳細な説明文字列に「LAPAROSCOPE」（腹腔鏡）が含まれる案件を検索すると25件がヒットした。そこでIP2SGでIPC・出願人情報を検索して「LAPAROSCOPE」が含まれていそうな案件の公開番号を抽出し、これらをFOPISERで番号照会しFOPISERスクリーニング画面に表示される要約・請求項・詳細な説明文字列を確認した。この結果IP2SGでのテキスト検索ではヒットしなかった15件にも「LAPAROSCOPE」の文字列が含まれていることが判明した。

全文検索がサポートされていないFOPISERを使用し

て収録文字列を評価するために、一般的には馴染みが薄

い（筆者にとっては馴染みの深い）「LAPAROSCOPE」

を例にとって検証してみたことをご容赦願いたい。

このようにスクリーニング画面に表示される全文文

字列を検索することができれば、IP2SGではヒットさ

せられない案件も多数抽出することができる。IPOSから

入手した情報には規定どおりのタグが付与されておら

ず、各フィールドのデータを切り出すのが容易ではな

いとの情報もJPOから得ているが、Espacenet⁽⁷⁾の

Smart Searchのように番号情報・日付情報・文字情

報の区別なく、「全文文字列」を検索するだけの機能なら、

FOPISERの裏に位置するDBMS（データベース管理

システム）でもサポートされている機能であろうと想定

される。是非サポートしてほしい機能である。

3.4 シンガポールまとめ

FOPISERには若干の収録タイムラグは見受けられる

が、権利期間（過去20年の出願）内の公開特許はほぼ

全数が収録されている。一方登録特許は全く収録されて

おらず、登録特許の権利範囲を判読することができない。

是非登録特許情報もIPOSから入手していただきたい。

また FOPISER の収録情報（IPOS 情報）が 2015/12/26 以降一度も更新されていない。2016 年に公開公報が発行された案件が、IP2SG には 8 月現在ですら 4500 件ほど収録されており日々収録タイムラグが拡大している。IPOS からのデータ提供が途絶えているのか、JPO 側の処理が遅れているのかは不明であるが、たとえば月次程度の短い周期での定期的な収録を期待したい。

また前記のように IPOS から入手した情報を検索できるように、さらにスクリーニング画面に表示される文字列を全文検索する機能をサポートしてもらいたい。これが実現すれば難易度の高い同国特許調査に風穴を開ける、画期的なデータベースとなることは間違いない。

4 ベトナム

同国ではベトナム国家知的財産庁（NOIP）により公開特許・登録特許双方を収録する特許検索データベース（IPLib）⁽⁸⁾、および登録特許だけを収録する特許検索データベース（DigiPat）⁽⁹⁾ が WEB 公開されている。SG と同様に、双方のデータベースのアクセス方法および収録情報分析結果の詳細は、JETRO の WEB サイトに掲載された「ベトナム国家知的財産庁が提供する産業財産権データベースの調査報告」⁽¹⁰⁾ を参照願いたい。

4.1 出願・発行された案件の収録網羅性

IPLib の案件収録網羅性は特許・実案ともに過去 20 年に渡って高いレベルで安定している。詳細は JETRO 報告書の 9 ページを参照願いたい。

そこで IPLib と FOPISER の案件収録を比較する。FOPISER のレコードは公報番号単位で構成され、公開特許と登録特許が別レコードになっている。一方 IPLib では出願番号単位でレコードが構成され、公開特許・登録特許は共通のレコードとなっている。そこで公開特許・登録特許を区別することなく、IPLib の特許案件と FOPISER の特許案件の収録を比較する。

図 9・図 10 は IPLib あるいは FOPISER に収録され 1996 年以降に出願された特許案件、および 2006

年以降に出願された実案案件について、IPLib だけに収録された件数、双方に収録された件数、FOPISER だけに収録された件数を、出願年ごとにグラフ化したもの。横軸の出願年は出願番号文字列に含まれる年号数字ではなく、IPLib レコード上で「出願日」として表示される出願年を、FOPISER にしか収録されていない案件については FOPISER レコード上で「出願日」として表示される出願年を使用した。

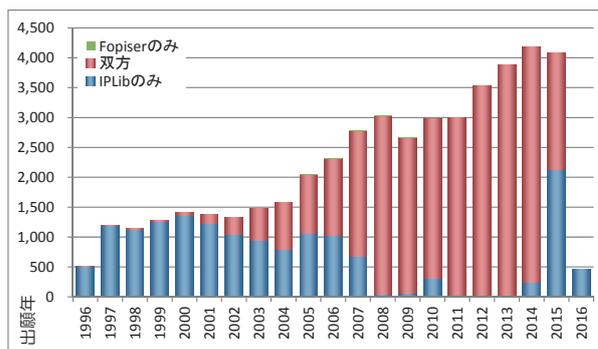


図 9 IPLib・FOPISER 特許収録比較

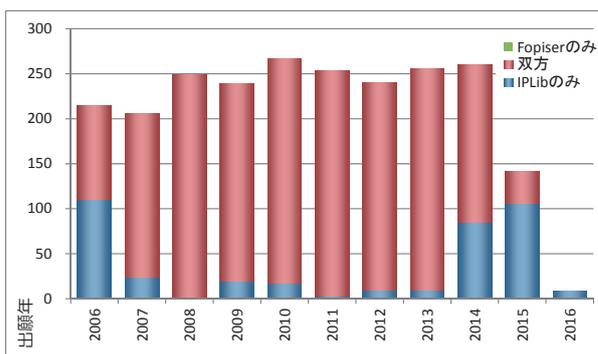


図 10 IPLib・FOPISER 実案収録比較

特許については、FOPISER には 2007 年以前に出願された案件の収録率が低く、「新しめ」の特許しか収録されていない。2015 年出願案件の収録率が低いのは NOIP から受領したデータのタイムラグが原因と想定される。2010 年にも「IPLib のみ」の青色のバーが目立っている。詳細に確認したところ、2010 年 11 月・12 月に発行された案件の情報が完全に欠落していることがわかった。JPO に確認したところ、NOIP からのデータにこの期間の情報が含まれていないとのことである。

実案についても 2014 年出願以降にタイムラグが原因と推測される低収録率が確認される。2006 年出願案件は半数程度しか収録されていないが、本稿が出版さ

れる時期には 2006 年出願案件のほとんどは権利期間の 10 年を過ぎており、実質的な問題はないと考えられる。

4.2 フィールドの潤沢さ

JETRO 報告書 49 ページに記したように IPLib の表示・検索項目は 31 項目と潤沢であり、特許検索データベースとしての必要条件を満たしていると考えられる。

FOPISER では、表示フィールドとして検索結果一覧画面に表示される各国共通の 7 項目に加えて、スクリーニング画面には表 3 に記した 12 項目がサポートされている。SG とは異なり請求項・詳細な説明はスクリーニング画面に表示されない。

表 3 VN 表示フィールド

スクリーニング画面	
発行国	IPC
出願番号	出願人／特許権者
公報番号	発明者
出願日	代理人
公報発行日	発明の名称
公開日／登録日	要約
優先権情報	
PCT 関連情報	

FOPISER の検索フィールドは各国共通であり、ベトナム案件についても検索フィールドの観点では必要条件を満たしているとは言い難い。

4.3 検索・表示用情報の正確性・網羅性

SG の場合と違って、VN 案件は IPLib から提供された情報を検索することができる。このため FOPISER に収録された約 38000 件の案件の全てが検索対象である。

IPLib では特許・実案ともに 2003 年以降に出願された案件については、ほぼ全数に要約文字列が収録されている。FOPISER は NOIP から提供された情報をもとに成り立っているデータベースであり、こちらも特許・実案ともに収録された案件のほぼ全数に要約が収録されている。IPLib には要約が収録されず FOPISER にのみ要約が収録された案件が、過去 20 年の特許案件の中で約 400 件、過去 10 年の実用新案の中で約 50 件存在

する。IPLib の収録もれを僅かに補充できる。

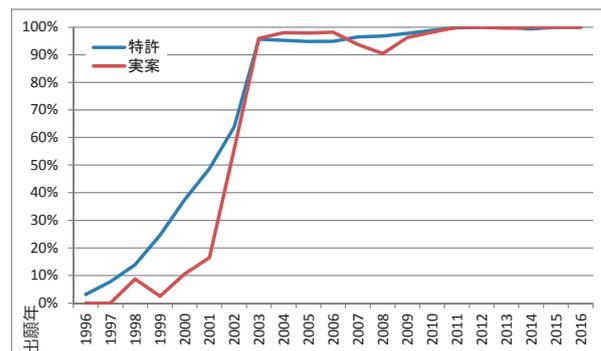


図 11 IPLib 要約収録率

しかし IPLib・FOPISER とともに請求項・詳細な説明はまったく収録されておらず、権利範囲を特定することができない。登録特許だけを収録する DigiPat では、案件自体が収録されていない 2 年間を除いて、ほぼ全件に要約・請求項・詳細な説明が収録されている。登録特許の権利範囲を調査するには IPLib・FOPISER のいずれも力不足であり DigiPat を使うしかない。

4.4 ベトナムまとめ

特許については FOPISER には「新しめ」の案件しか収録されておらず、権利期間（過去 20 年の出願）内の公開特許を網羅できていない。FOPISER には収録されていない古い特許であって、この時点で登録に至っていないものは僅かであるとは想定されるが、せめて特許の権利期間の 20 年間までは収録範囲を拡げていただきたい。

公開特許・登録特許ともに、請求項・詳細な説明がまったく収録されていない。これでは同国特許の権利範囲を特定することもできない。登録特許については DigiPat を使用すればほぼ全数の請求項・詳細な説明を読むことが可能である。NOIP には公開特許の電子化請求項情報が存在しないとしても、登録特許については DigiPat に電子テキストが完全収録されている。少なくとも登録特許については、請求項・詳細な説明の情報を NOIP から是非入手していただきたい。

また FOPISER に最初にベトナム案件が収録されたあと半年を経過しているが、収録情報がまったく更新されていない。月次程度の短い周期での定期的な収録の更

新を期待したい。

今のままではベトナム特許調査において FOPISER が IPLib・DigiPat より優れている点は、英単語を使用して英訳要約を検索できること、サーバーが安定して動作することしか思い当たらない。

5 タイ

同国ではタイ知的財産局 (DIP) により同国で発行された特許・実案・意匠を収録する検索データベース (DIP2013)⁽¹¹⁾ が WEB 上公開されている。このデータベースのアクセス方法および収録された情報の分析結果の詳細は、JETRO の WEB サイトに掲載された「タイ知的財産局が提供する産業財産権データベースの調査報告」⁽¹²⁾ (以下単に「JETRO 報告書」とする) を参照願いたい。

5.1 出願・発行された案件の収録網羅性

DIP2013 には出願後公開されるまでの案件も収録され一部の書誌情報が公開されている。このため収録率 (出願番号密度) は素晴らしく高く、出願番号が付与された案件のほぼ全てが収録されている。詳細は前記 JETRO 報告書の 9 ページを参照願いたい。

そこで DIP2013 と FOPISER の収録を比較することで FOPISER の収録網羅性を評価する。図 12・図 13 は DIP2013 あるいは FOPISER に収録され 1996 年以降に出願された特許案件、および 2006 年以降に出願された実案案件について、DIP2013 だけに収録された件数、双方に収録された件数、FOPISER だけに収録された件数を、出願年ごとにグラフ化したものである。横軸の出願年は出願番号文字列に含まれる年号数字ではなく、DIP2013 レコード上で「出願日」として表示される出願年を、FOPISER にしか収録されていない案件については FOPISER レコード上で「出願日」として表示される出願年を使用した。

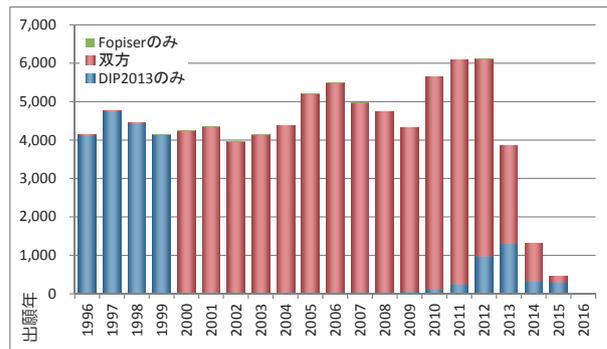


図 12 DIP2013・FOPISER 特許収録比較

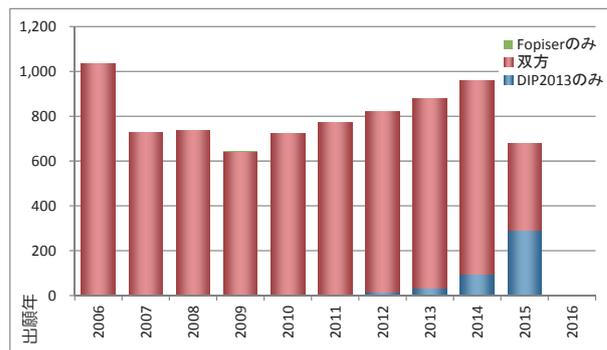


図 13 DIP2013・FOPISER 実案収録比較

このように特許案件については出願日が 1999 年以前の案件がほとんど収録されていない。2011 年以降に出願された案件の収録もれは収録のタイムラグと想定される。実案については、2012 年出願以降に僅かな収録タイムラグが確認できるが、それ以外は権利期間にわたってほぼ全数が収録されていた。

5.2 フィールドの潤沢さ

JETRO 報告書 26 ページに記したように DIP2013 の表示・検索項目は 30 項目と、決して少ない数ではない。しかし優先権情報や出願人国籍のように検索できるが表示されないもの、法律状態のように検索結果に表示されるが検索ができないもの等があり、特許検索データベースとしての必要条件を満たしているは言い難いレベルである。

FOPISER では、表示フィールドとして検索結果一覧画面に表示される各国共通の 7 項目に加えて、スクリーニング画面には表 4 に記した 15 項目が表示される。しかしこの中には出願国・出願種別・出願時の言語・公開時の言語等、さほど重要ではない項目も含まれており、決して潤沢な表示とは言えない。FOPISER のメリット

は、優先権情報が表示されることにある。

表4 TH表示フィールド

スクリーニング画面	
発行国	出願日
公開番号	出願時の言語
公報種別	公開時の言語
公開日	優先権情報
IPC	発明の名称
出願国	要約
出願番号	請求の範囲
出願種別	

5.3 検索・表示用情報の正確性・網羅性

VN 案件と同様に TH 案件は DIP から提供された情報を検索することができる。このため FOPISER に収録された約 77000 件の案件の全てが検索対象となる。

図 14～図 15 は要約の電子テキストの収録率を、DIP2013 と FOPISER で比較し、「DIP2013 のみ」・「双方」・「FOPISER のみ」・「なし」の 4 色に塗り分けた棒グラフである。

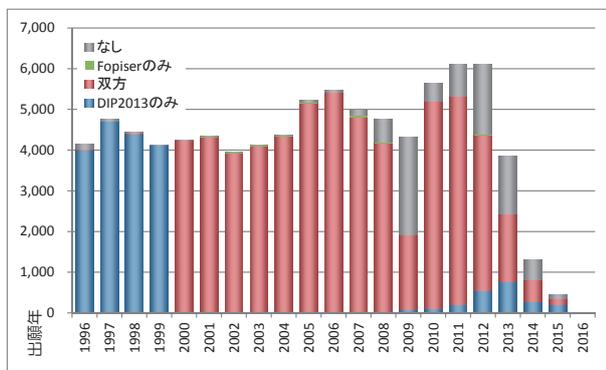


図 14 DIP2013・FOPISER 特許要約収録比較

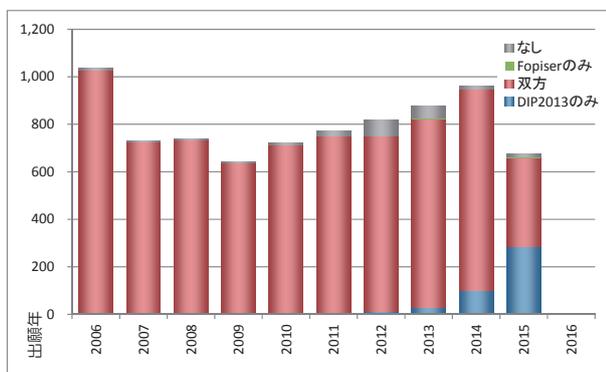


図 15 DIP2013・FOPISER 実案要約収録比較

このように特許・実案ともに案件自体が FOPISER

に収録されているものは、ほぼ全数に要約文字列が収録されていることがわかる。

続いて請求項について同様の比較を実施した。JETRO 報告書の 14 ページに記したように DIP2013 では収録のタイムラグと想定される 2013 年以降および 2009 年出願案件以外は、90% 程度の案件に第 1 請求項が収録されている。一方全請求項の収録率は非常に低く、案件の権利範囲を特定するには力不足である。図 16～図 17 は全請求項の収録を、要約と同様に、「DIP2013 のみ」・「双方」・「FOPISER のみ」・「なし」の 4 色に塗り分けたもの。

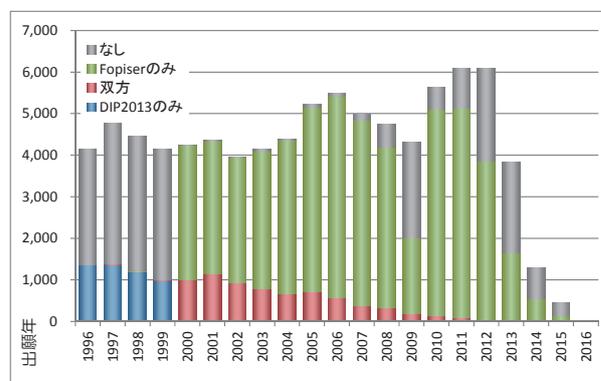


図 16 DIP2013・FOPISER 特許全請求項収録比較

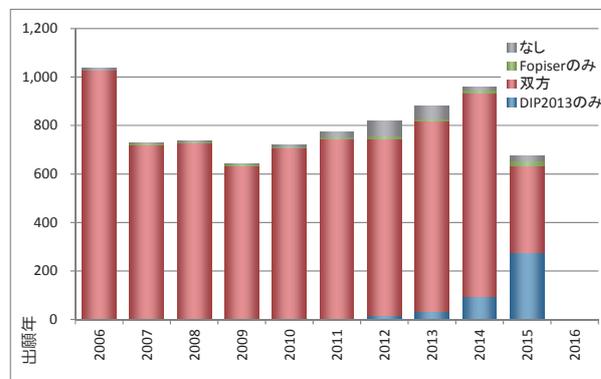


図 17 DIP2013・FOPISER 実案全請求項収録比較

実案については DIP2013・FOPISER の収録に大きな差は見られないが、特許についての FOPISER の収録率が際だっている。DIP2013 では第 1 請求項しか収録されていない案件のほとんどに FOPISER では全請求項が収録されている。同国特許の権利範囲を特定するにあたり、非常に素晴らしいデータベースと言える。

もうひとつ DIP2013 と比べて FOPISER が圧倒的に優れている点が優先権情報の収録（画面表示）である。

ASEANをはじめとする新興国では、他国特許を優先権主張する案件、あるいはPCT国内移行案件が多数を占めることが経験上わかっている。しかしDIP2013では検索フィールドには優先権情報もサポートされているが、検索結果画面では優先権情報が一切表示されない。リンクされた公報フロントページ（画像PDF）を開いても優先国・優先日の情報にタイ語が含まれていたりして、同国案件を「親特許」と紐付けることが容易ではない。このためDIP2013で得られる情報の乏しさやタイ語表記という難読性を「親特許」による代替調査で補うことが非常に難しい。

FOPISERでは検索機能はサポートされていないものの、スクリーニング画面には優先権情報が表示されており、別のデータベースを使用して親特許の内容を調べることで該当タイ特許の査読レベルを深めることができる。

図18に特許案件についての優先権情報の収録率を示す。80～90%の特許案件が「他国生まれ」であることがわかる。一方実案については、95%以上の案件が優先権主張されていないものであり、同国に第一国出願された案件であった。

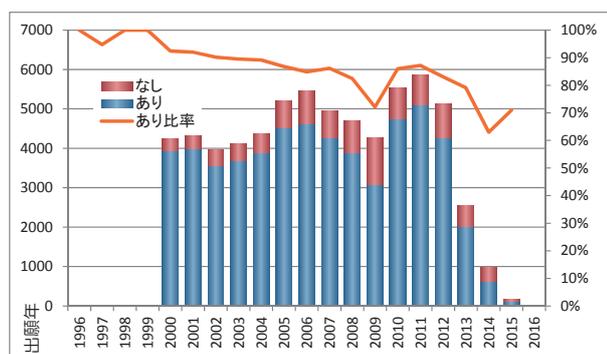


図18 TH特許優先権比率推移

図19は優先権情報が付与された特許案件を母集団として、優先国の比率の推移を出願年ごとに表したものの。2013年出願以降は、まだ収録件数も少なく正確な比率を表していない可能性もあるが、70～80%がJP・US特許を優先権主張するもの。一般的に夥しい表記揺れが存在する優先権番号であるが、我々にとって出願番号表記に馴染みのあるJP特許、そもそも表記揺れが少ないUS特許が「親」であることは幸運である。

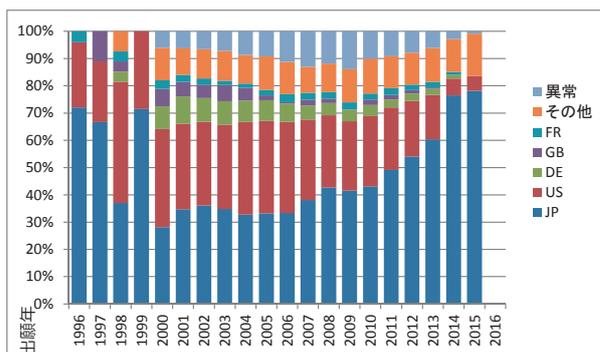


図19 TH特許優先国比率推移

一方、優先国に「1」や「11」の数字が入った案件（系列：異常）も無視できない比率で見ついている。これらいずれもDIPから提供されたXMLデータ上で優先国が正しくないとの情報をJPOから得ている。この中には優先国は「11」であっても、優先権番号が「EP」や「US」で始まる文字列であり、優先国を判定できるものも含まれている。これらを合算すると更に多くの案件の「親特許」が明らかになるはずである。

図20は日本企業から出願された案件の公報フロントページの抜粋。INID(89)としてPCT出願番号が記載されている一方で、(31)～(33)の優先権情報も記されている。

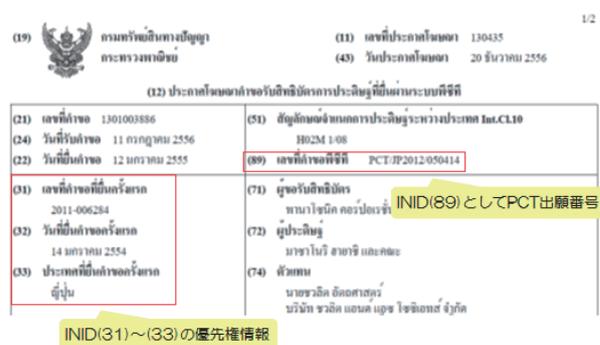


図20 PCT国内移行特許フロントページ

FOPISERでこの案件を調べると、

【優先権情報】

- (33) 【優先権主張国】 JP
- (31) 【優先権主張番号】 2011-006284
- (32) 【優先日】 2011-01-14

とスクリーニング画面に表示されるものの、(89)のPCT出願番号が表示されない。DIPから提供されるXMLデータ上で情報が欠落しているのか、FOPISER

に取り込む際の欠落なのかは不明である。

PCT 出願番号も FOPISER で表示してもらえば、優先権番号（各国出願番号）の表記揺れに悩まされず「親特許」に辿り着ける案件が更に増えることは明らか。非常に残念である。

また FOPISER スクリーニング画面には出願人・発明者等の人的情報が一切表示されない。これは DIP から提供されるデータには人的情報が含まれていないためとのこと。このため FOPISER 検索画面で検索項目として「出願人／権利者」を指定しても検索できないことに注意が必要。

タイ文字は日本語のひらがな・カタカナ同様に表音文字である。外来語は聞こえた音をタイ文字で表記している。外来語と表音文字の組み合わせは夥しい表記揺れの原因となる。たとえば「フランス国立科学センター」出願の日本特許に記された出願人名には数十を超える表記揺れが確認できる。筆者による調査では本田技研工業株式会社から出願されたタイ特許には 80 種を超える表記揺れが見ついている。これらのタイ語文字列は、発音が「ほんだぎけんこうぎょうかぶしきがいしゃ」に近い文字列であり、タイ語文字列を実際に Google で翻訳してみると酷いものでは「本堂は、ケンとレストラン紙器工業カイシャを食べます」となり、どれひとつ「本田技研工業株式会社」には翻訳されない。仮に FOPISER にタイ語表記の出願人名、あるいはそれを機械英訳したものが収録されていたとしても、さほどのメリットはないのかもしれない。

5.4 タイまとめ

特許・実案ともにほぼ全数を収録しており、請求項文字列も高い収録率である。特に特許については DIP2013 では表示されない全請求項が表示され、特許調査における非常に優れたツールとなりうる。一方収録された特許は公開特許に限られており、登録特許の権利範囲を特定することができない。登録特許情報も DIP から入手されるよう期待したい。

DIP2013 では全く表示されなかった優先権情報が

FOPISER には収録されており、「親特許」と容易に対応付けができるようになったことは非常に嬉しいことと考える。

一方で FOPISER の検索項目には請求項も優先権情報も含まれておらず、TH でも SG の全文文字列と同様の宝の持ち腐れになってしまう危険性を否定できない。改善を期待したい。

もうひとつ素晴らしいのは収録情報のアップデート。2016 年 5 月に FOPISER で特許案件の公開が始まり、その後 7 月には実案も収録された。同じタイミングで特許文献についても情報が追加されている。最初の収録時点から全く情報が追加（更新）されないシンガポール・ベトナムに比べると、ホットな情報を取得できるデータベースと評価できる。

6 おわりに

以上述べてきたように、FOPISER での ASEAN 諸国文献の公開は、我々日本で ASEAN 特許を調査する者にとっては大きな武器になり得る可能性を秘めている。しかし現状では VN については同国のデータベース（IPLib・DigiPat）を使用した方が、より正確性・網羅性の高い検索ができる状態ではある。

FOPISER は、いずれも各国特許庁から提供された情報を一般公開しているもの。本国の特許庁以上の情報を JPO が得られるわけではない。VN 案件についての FOPISER の有効性が低い原因は、本国の検索データベースがそこそこ優れており、FOPISER が本国を大きく凌ぐ付加価値を出せていないというだけ。SG・TH の特許調査に FOPISER が非常に有効なのは、本国の検索データベースの性能が低いためとも言える。

狭義の FOPISER である「FOPISER データベース」には、検索機能の充実を期待したいところ。一方各国特許庁とのデータ交換を含めた広義の FOPISER である「FOPISER システム」には、収録文献の拡大（公開だけでなく登録も）、収録期間の拡大（せめて権利期間の案件は全て）、短い周期での定期的な情報のアップデー

トを是非とも期待したい。

既にフィリピン⁽¹³⁾・インドネシア⁽¹⁴⁾ともデータ交換の枠組みが締結され、FOPSIERでの公開に向けてFOPISERシステム・データベースともに作業が進んでいるものと思われる。しかしこの2か国は本国の特許データベース側では

- ・縦軸：出願・発行された案件の収録網羅性
- ・横軸：フィールドの潤沢さ
- ・交点：検索・表示用情報の正確性・網羅性

のいずれも必要条件が満たされていないことがわかっている。前途多難と思われるが、日本の特許情報システムの整備のために、関係する方々にご尽力いただければ幸いである。

補足・参考文献

- (1) DOCDB：欧州特許庁により維持・管理される全世界の特許情報を収録したデータベース
- (2) 外国特許情報サービス FOPISER (Foreign Patent Information Service)： <https://www.foreignsearch.jpo.go.jp/>
- (3) FOPISER HELP 画面： <https://www.foreignsearch.jpo.go.jp/help/top.html>
- (4) Google 翻訳：Google 社が提供する翻訳サービス
- (5) IP2SG： <https://www.ip2.sg/>
- (6) シンガポール知的財産庁が提供する産業財産権データベースの調査報告： https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/sg/ip/pdf/search_ip_communique2015.pdf
- (7) Espacenet： https://worldwide.espacenet.com/?locale=jp_EP
- (8) IPLib： <http://iplib.noip.gov.vn/WebUI/WSearchPAT.php>
- (9) DigiPat： <http://digipat.noip.gov.vn/default.aspx?index=1>
- (10) ベトナム国家知的財産庁が提供する産業財産権データベースの調査報告： https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/vn/ip/pdf/search_ip_communique2015.pdf
- (11) DIP2013： <https://patentsearch.ipthailand.go.th/DIP2013/simplesearch.php>
- (12) タイ知的財産局が提供する産業財産権データベースの調査報告： https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/th/ip/pdf/search_ip_communique2015.pdf
- (13) 第5回日アセアン特許庁長官会合： <http://www.meti.go.jp/press/2015/05/20150525007/20150525007.html>
- (14) 第6回日アセアン特許庁長官会合： <http://www.meti.go.jp/press/2016/07/20160720002/20160720002.html>

